

第45回 令和7年6月18日(水)

6月なのに記録的な暑さが続いています。睡眠と朝ご飯を欠かさないように。なるべく入浴もぬるめの湯船につかってください。

私は健康診断で脳ドックを受けて病気が見つかったことがあります。別に頭痛があったわけでもないし、たまたま異動したばかりでこれから部活が忙しくなるからその前に受けておこうと思った健康診断でした。

MRIをはじめて経験した3日後ぐらいでした。健診センターから「脳に異常が診られました。一度来てください」と電話がありました。すごく不安になり「どんな病気ですか?」と聞いても「電話ではお答えできません」とのこと。通院までの何日かは嫌なことばかり考えていました。

お医者さんから告げられたのは「脳腫瘍」。すでに視野が欠けているところがあり、放置すると失明する危険があるということでした。不思議なもので病名がわかると不安は消えました。ここからは治すことしか考えなくていいのですから。

治療方法は外科手術です。幸い鼻に近い箇所なので開頭せず鼻から取ることができるそうです。手術は大学病院で行われました。あとで家族に聞いたらそれほど簡単な手術ではなかったようですが、自分はあまり心配していませんでした。「まな板の上のコイ」状態です。

先日アキレス腱断裂の手術の時もそうでしたが麻酔というものは本当に不思議な体験です。注射とかしたあと「いまからガスを流しますからね」と声をかけられます。そこまでは本当に麻酔が効くのかなと思うほど意識がはっきりしていたのですが、この声のあと次の瞬間は「手術終わりましたよ」と起こされる場面でした。実際は10時間近くかかったようなのですが、自分ではまったくわかりません。

辛かったのは手術後です。痛みはあまり記憶にないのですがとにかく「のどが渴く」。水を飲んではいけないみたいで看護師さんに訴えると小さな氷を1かけら口に含ませてくれました。

あとで体重を測ると手術前から4キロぐらい減っていました。人間が水分でできていることを実感しました。

今は後遺症もなく元気ですが、みなさんも健康について過信せず、時々健診を受けることをお勧めします。最近の医学は進歩しているので初期段階ならほとんどの病気は治癒可能だと思います。